

平成24年度も終わりに近づいてきました！

3月の忙しさの後にやってくる達成感や充実感は、格別なものがあります。子ども達は、1年前に比べると明らかに成長していて、様々な出来事が思い出されます。あらゆる学校生活を通じて子どもに伝えてきたことは、どれほど子どもの心に届いたのでしょうか？学校は学習が中心ですが、知識だけでなく、人としてのあり方や生き方、命の尊さなど、あらゆることを子どもに問いかけます。一人一人、とらえ方は違います。今はたくさんの価値観があります。その中で、普遍的なもの、人に迷惑をかけない価値観が重要だと思います。

新しい考えはもちろん大切です。自分ばかりに目が向くような価値観は利己的です。誰もが幸せになれるような考え方を、学校や家庭で磨いていけたら素晴らしいと思います。

今年度を振り返ってみると、いろいろなことがありました。各学校で行われた「渡辺玉枝さん」出前講座。エベレストをより身近に感じた夏でした。夏休みを中心に行った教職員対象のいろいろな講座や研修会、実際に体験して自分の糧とするというものが多かったです。秋になり、小学5年生を対象に「川の学習」を実施しました。天候に泣かされた秋でした。また、ご父兄の方々にも参加していただいた、防災についての教育講演会。講師の高野甲子雄さんのオレンジ色の消防士の服装が目につきます。富士山の世界遺産の話題がマスコミでも頻繁に取り上げられているころ、「富士山学習」の土台になる研究授業が小立小(6年生)で行われました。外部の専門的知識を持ち合わせた方とのタイアップで、先生方にも問題提起をすることができました。この他にもたくさんの事業がありましたが、主なものを振り返ってみました。

相談で教育センターを訪ねる子どもや親達が、少しでも前向きな気持ちで過ごせればと願っています。悩みの内容もかかる時間も様々です。相談員の先生方は話を聞き、気持ちに寄り添い、一緒に考えます。「三人寄れば文殊の知恵」と言いますが、あれやこれやと考えをめぐらすことが、とりもなおさず、解決の一步を歩き始めたことなのだと思います。

第2回教育センター運営協議会

3月15日(金)、運営協議会で今年度の成果と来年度の予定を報告及び確認をして、今年度の事業は全て終わりにになりました。教育長をはじめ。教育委員の方々、町議会の方々、学校の先生方、町民のみなさまにはいつも温かく応援していただき、今年度もつつがなく終わることができました。

「教育センター」の認知度も向上し、運営に対する理解も深まってきました。これからも富士河口湖町の教育の一所として、その責務を果たしていきたいと思っています。



1年間、ご協力ありがとうございました。